

【 KATO EF80 の DCC デコーダ組込みについて 】

1 . はじめに

KATO EF80 への DCC デコーダ組込みが上手くいきましたので参考にしてください。

(1) 前提

以下の車輌にデコーダを載せる加工について記述

KATO EF80 一次形 [2009 年 12 月発売] (品番 3064-1)

NGDCC 製 DCC デコーダ [DE22x6 EF65K 2009.9]

- (2) デコーダ組込み後、最初の通電試験をする際は、永末システム事務所の推奨する方法で試験を実施してください。

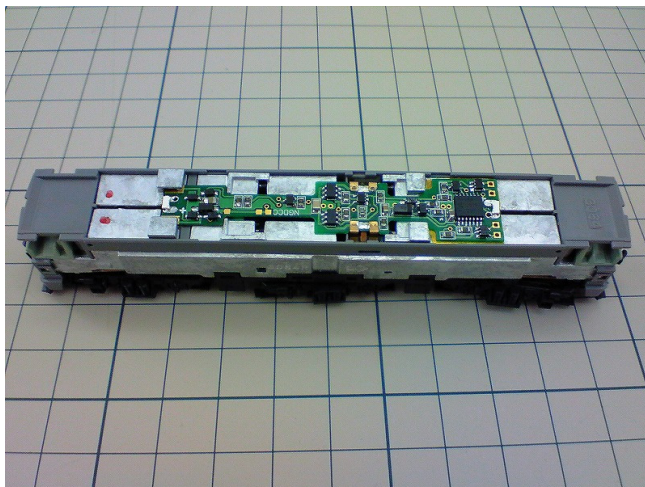
2 . 完成

(1) 通電試験



完成形です。

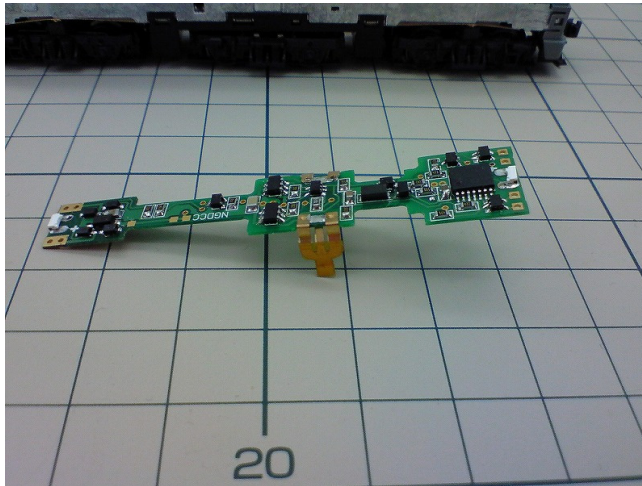
(2) 組込み完成



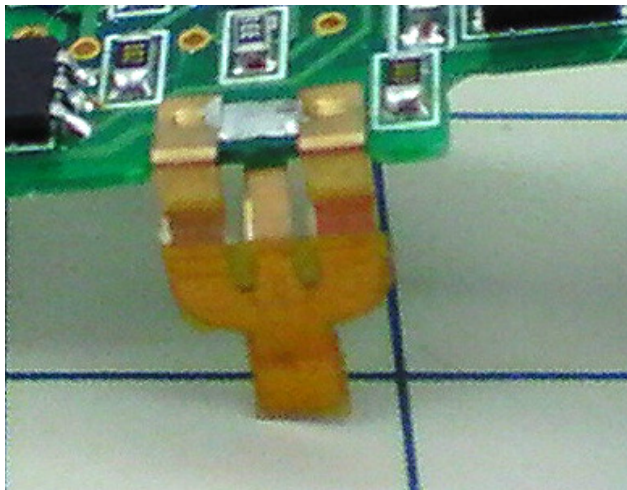
デコーダを組込んだ完成形です。

3 . 絶縁加工

(1) デコーダの加工

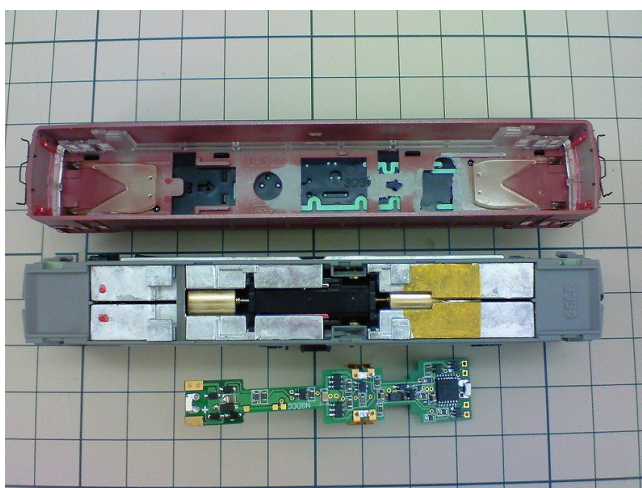


白色チップ LED の取付けと、モーター配電クリップの絶縁加工

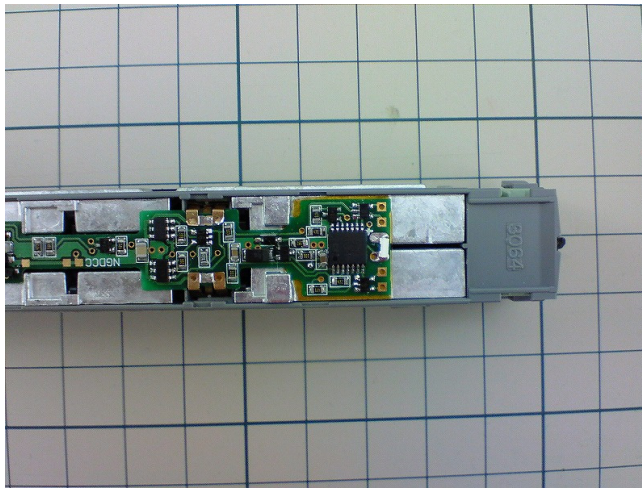


DE10 にくらべ、EF80 は EF65-500(P) と同様のクリップの形となっています。
カプトンテープにて外側を絶縁

(2) ダイキャストへの絶縁

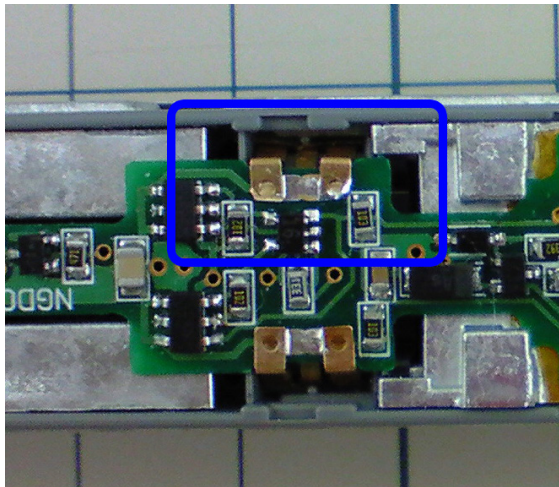


ダイキャストへの絶縁



デコーダの組込み(絶縁部分を中心に)
「基盤押さえ」は使いません。

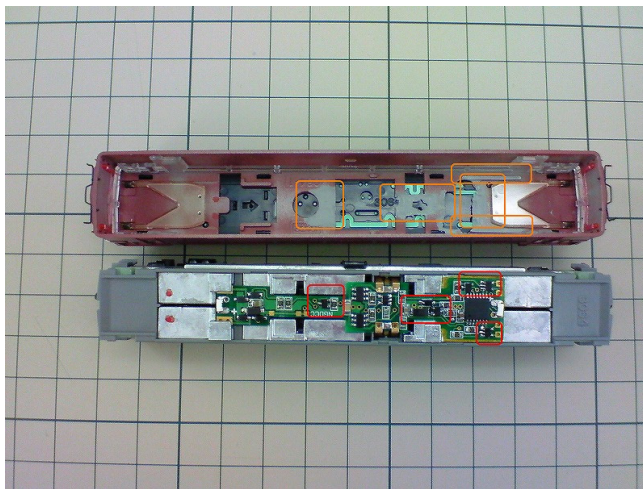
モーター配電クリップが抵抗に接触し
うでしたので「爪切り」の実施、及び、固
定化と通電確保のためハンダ付けしてい
ます。



モーター配電クリップの「爪切り」とハン
ダによる固定 (拡大)

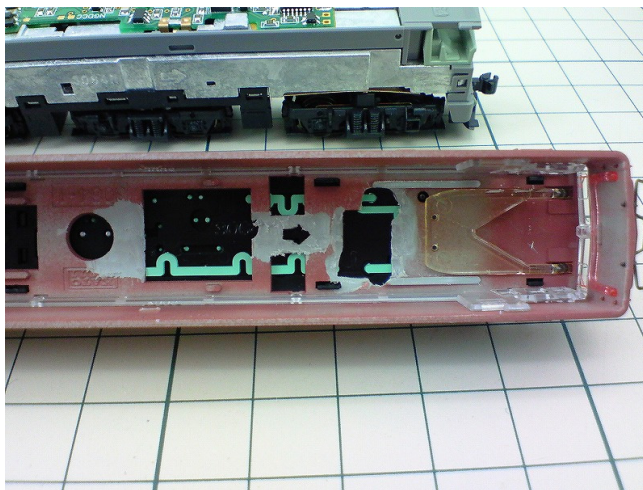
4 . デコーダとボディの干渉と加工

(1) デコーダとボディの干渉

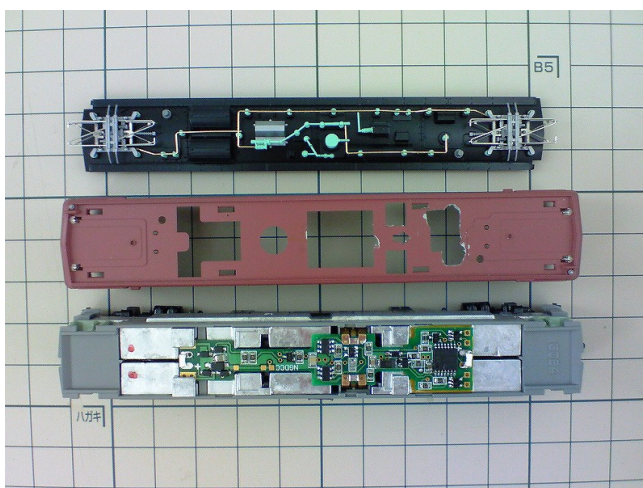


a) オレンジ色
ボディ裏のデコーダと干渉する部分。

b) 赤色
デコーダの干渉部分



デコーダとの「合わせ」で削ります。



ボディ上部

5 . 改定履歴

- (1) 2009 年 12 月 27 日 初版
- (2) 2009 年 12 月 29 日 改定 誤記訂正と追記、フッタへの頁追加

6 . その他

- (1) 図表番号は、略しています。
- (2) 当レポートを参考に製作を行った場合、作業によるケガ、損失があった場合でも、作業者の責任であり、当レポートの作成者には一切責任が無いこととします。
- (3) 著作権

当レポートの著作権は、以下に有します。頒布やコピーを認めますが著作権は放棄しません。

和田 実

永末システム事務所 永末 周平

- (4) 最後に、頑張ってください。ケガの無いように！